12月定例会 町政を問う 一般質問

12月定例会

Q 来年度の予算編成は
A 行財政の健全化に努める

長島 正一 議員

本町の実質公債費比率は21・8％で、いまだ県による指導の範囲にとどまっていますが、財政健全化法では、最低でも18％未満が求められております。

日本の経済の状況や現政府の対応では、非常に不透明感があり、将来を考えるとき、現状の仕組みを見直した予算編成にする考えは。

山碕 英樹 町長

厳しい財政状況がつづいており、今後も行政の効率化、健全化を進めます。

これまで集中的に繰上償還を行い、歳出、借入額を抑制し、来年度も収支均衡予算を組んでいきます。

産業振興及び雇用の確保、定住対策、保健医療福祉の充実、この三点を重点とした予算編成に努めます。

Q 地場産業創出と振興は
A 農商工連携で複合産業を

長島議員

飯南町産業活性化ビジョンの目的は『地域を支える産業の創出、産業活性化の行動計画を作成し、施策として里山資源を生かした産業の創出、安心安全な食の提供と農林業、商工業の活性化』とあります。

具体的な考えと里山コミッションはまちづくりの推進母体となっていますが、その役割と将来の独立は。

山碕町長

町内の産業にかかわりのある団体等の皆さん方の参画を得て、産業活性化ビジョンでは、ヤマトイモ、森林セラピーを具体的な起爆剤として考えております。

産業促進の仕組みは、環境を生かした農林業を確保し、外貨獲得要素の多いサービス業を結びつけ、また、加工の付加価値に取り組み、農商工連携による産業の展開、雇用の拡大につなげ、複合産業を目指します。

里山コミッションは、産業創出に当たって特産物の販路拡大、情報の発信、人材バンクなどの部門を担当し、森林セラピーなどを担って現在活動をしています。

里山コミッションの経営には経営企画会議を設置して協議を進めていますが、法人化時期については、しばらく時間をいただきたいと思っています。

Q 町資産の有効活用を
A 処分と活用を推進

赤小登校風景

長島議員

この4年間、経費の大幅な削減と繰上償還で財政状況の改善が見られます。しかし、町所有の資産運用の改善や活用がなされていません。

住宅用地の譲渡制度創設や不要資産の整備等により財政運営の効率化を図る考えは。

山碕町長

行政改革推進大綱で遊休施設の活用の重点に掲げ、固定資産・動産について処分に努めています。また、住宅用地の譲渡については今後定住促進の活用に検討してまいります。

Q 尾道・松江線開通への対策は
A 町のブランド化等に努力

長島議員

平成24年度に尾道松江線開通予定ですが、産業全般に大変な影響があると思われます。特に、農産直売所の対策が急がれます。

対策としての高齢者農業推進と交流拠点のアンテナショップ、直売所の設置と情報発信による仕組みづくりは。

大万木トンネル工事

道の駅赤来高原 店内

山碕町長

高速道の開通により通行量は減少しますが、時間的距離は短縮されることもあり、本町にしかないもの、来なければ買えない品質のよいもの、今あるものにもう一度光を与え、品質の確保向上に努力することが大切だと思います。

また、情報の発信については、飯南町の町名を売るため、広島市でテレビコマーシャルをはじめ、町出身の応援団を活用して宣伝に努め、飯南町のブランド化、産物のブランド化に努めていきます。

Q 志津見ダム周辺整備予算は
A 予算確保と地域活性化を

永井 章 議員

志津見ダムは、工事着手以来23年有余の長い年月と事業費１４５０億円を投じ、平成21年3月に完成し、現在試験灌水中です。

残された周辺整備事業の緑地公園はダム本体附近に建設が計画されていますが、政権の交代により、全国１４３ヵ所を対象に有識者会議で今後見直しの報道があります。国の予算編成も本格化しており、公園建設予算の見通しは。

また、完成後の維持管理も国が実施すると聞いていますが、国の財政事情からみると、町へ維持管理を求めるのではないかと危惧しています。

今後、予算確保に努め、地域の活性化・雇用の確保・観光施設として大いに期待されていますが町長の考えは。

山碕 英樹 町長

新政権が誕生し、来年度の公共事業の予算が削減されて、現在不透明感もありますが、計画されている緑地公園の予算確保には、国に強く要望をしています。

ダム完成後の維持管理費用は、政府の行政刷新会議の事業仕分けにおいて10％～20％の削減が求められており、非常に危惧をしています。

さらに、ダム周辺施設を観光・交流の軸として雇用の確保・地域活性化のために国から水源地域アドバイザーを迎え、地元の皆さんと一緒に考え、今後地域振興のために努めていきたいと思います。

灌水中の志津見ダム